

建設環境常任委員会

9 議案 可決
1 請願 採択

道路・橋りよりの建設や管理、上下水道事業、環境、商工業、農業、観光、防災、市民生活に関することなどの議案等を審査しています。

平成31年度行田市交通災害共済事業費特別会計予算

問 交通災害共済基金を活用し、見舞金や会費の見直しを行う考えは。

答 平成26年の見舞金の改正から既に4年が経過しているため、基金残高や繰越金の額も勘案しながら会員への還元について検討していきたい。

平成31年度行田市水道事業会計予算

問 給水収益が年々下がっているが、対策は。

答 給水収益を上げるためには、産業団地における製造業等の企業誘致など、水道課のみではなく市全体で施策を講



審査風景

平成31年度行田市公共下水道事業会計予算

じていく必要がある。また、経費削減のため、官民連携や広域連携なども見据えて事務事業の見直しに努めていく。

問 企業債に対し利息が大きいが、利率はどのくらいか。

答 現在借入れをしている中で最も高い利率は昭和63年当時のもので約4・8%である。現在の利率は0・5%程度であるが、事業量に応じて年度ごとに借入れを行い、その当時の利率で返済を続けているため、このような利息額となる。

平成31年度行田市一般会計予算

○婚活支援事業

問 市で実施する婚活支援事業を1回に減らした理由は。

答 本市は平成31年度からSAITAMA出会いサポートセンター運営協議会へ参加する予定である。これにより、利用者が県内全体の事業に参

加しやすくなり婚活の場も広がるため、市内で実施する婚活支援事業は1回に減らしたものである。

○JR行田駅自転車駐輪場

問 新たに設置する駐輪場の設置台数は。

答 新たな駐輪場は700台分を予定している。現在は仮設駐輪場と第2ヶ里山町自転車駐輪場とを併せて約830台が駐輪されており、約130台分が減ることとなるが、第3ヶ里山町自転車駐輪場の利用を促していきたい。

○観光協会補助金

問 行田版DMOの設立の目的は。

答 DMOの設立により観光地経営の視点に立った稼ぐ観光を強力に推進し、さらなる地域活性化を図るものである。
問 観光協会の民営化に向けた専門職員はどのように選任するのか。

答 DMOの設立や観光地経営に関して専門的な知見を有

する方を公募により採用する予定である。

○忍城おもてなし甲冑隊

問 今後継続していく考えがあるのか。

答 忍城おもてなし甲冑隊に関する委託事業については、行田版DMOを核とした持続可能な地域形成プロジェクトの中で地方創生推進交付金を活用して実施していく予定である。本プロジェクトは3力年の計画であるため、平成33年度までは活動の継続を見込んでいるが、その先は現時点では未定である。しかし、甲冑隊の認知度は非常に高く、本市のPRにも貢献していることから、今後活動を継続していくためにも甲冑隊自体のさらなる魅力向上を図ってきたい。

○商工センター

問 商工センター1階に観光協会を、2階のパブリックホールの場所に「ぶらっと行田」を移設するのはなぜか。

答 観光協会の民営化に当たり新たな拠点を検討する中で、商工センター1階のぶらっと行田は販売施設としての立地も決して良くないことから、

販売力強化のため2階へ移設するとともに観光協会の事務所を1階に設置することとしたものである。

○歴史的街路整備事業

問 意識調査の内容は。

答 歴史的街路整備を行った八幡通り及び北谷通りの沿線の住民を対象にアンケート調査を実施する予定であるが、アンケートの中身や実施時期は未定である。



八幡通り

○出水対策事業

問 藤原町地区の出水対策事業の整備内容は。

答 藤原町地区ではこれまで長野落のかさ上げ工事を実施したが、それに加えて平成30年度から排水ポンプを設置しているもので、平成32年度までの3力年で毎年2基ずつ計6基設置するものである。